

【スマイル工房開所記念号】

そよかぜだより



新設スマイル工房の開所に当たって。

野崎功市=文
社会福祉法人そよかぜ理事長

平成29年9月初旬に着工したスマイル工房新築工事が、本年5月本体工事が完了し、その後、開設に向けた内部事務設備等の諸準備が終了したことから、本年9月26日、竣工式典が市関係者をはじめとする来賓の方々のご出席を頂き、無事終了することができました。

こうして新施設の竣工式を無事に迎えることができましたのも、羽村市ご当局からの用地無償貸与をはじめ、東京都ほか関係行政機関のご指導、ご支援の賜であり心から感謝を申し上げる次第です。更に、長期間にわたる工事に際しまして、多大なご支援、ご協力頂きました地元町内会、近隣の

方々に、改めて心からお礼を申し上げる次第であります。有難うございました。

さて、スマイル工房は、平成4年8月に「あやめ家族会」が「あやめ作業所」を仮開所、平成5年4月に精神障害者共同作業所「あやめ共同作業所」へ名称を変更し、民間アパートの一室において開所したのが始まりです。

その後、平成11年4月からは、「あやめ共同作業所」が「スマイル工房」と名称変更され、同年6月から市施設を借用し、スマイル工房の運営が開始されました。

平成22年4月からは、現在の社会福祉法人そよかぜへ統合され、新施設の構想が理事会において検討され

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第135号

発行2018.10.21

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

☎042-578-0855

fax.042-578-0466

ることになりました。

平成26年8月に、建設用地について市有地貸与への要望書を提出させて頂き、結果、平成28年8月に、市内玉川町の現在地に、貸与の確約を受けることが出来ました。この市有地には、一部民有地が入り組んでいることから、市当局には、その買収について地主との交渉など大変なご尽力をいただいたと聞いております。あらためて市長はじめ担当部局に心から感謝を申し上げる次第です。

更に本施設建設につきまして、側面からご支援いただきました議会関係者皆様に厚く御礼を申し上げます。

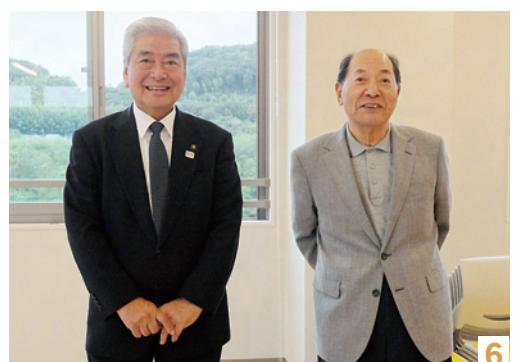
振り返り見ますと、精神障害を持つ方々の就労の場が、羽村に誕生してから26年余りの月日が流れました。そして、新しい施設が10月1日から開所する運びとなりました。利用者の皆さんには、もとよりスマイル工房の家族の方々の喜びもひとしおかと思います。

→ うした、いろいろな経緯のもとに
→ 新しく出来あがりました、この素晴らしい障害者就労支援施設を、今後どう内容を充実させ発展させるかは、いつにかかるべく私たち理事、監事、評議員をはじめとする役員、そして職員の責務であり、加えて利用者の協力によるものと考えております。どうか、今後とも関係皆様をはじめ、日頃からご支援を頂いております企業、市民の皆様、そして地元町内会の皆様の変わらぬ、ご支援、ご協力をお願い申し上げ開所の挨拶といたします。



並木市長が内覧されました。

並木市長と羽村市職員の方々が竣工したスマイル工房の内覧に来られました。
河村所長より新しい設備や利用される方々が生きがいの持てる
新スマイル工房についての説明が行われました。



1 オープンなど様々な調理機器が設置された厨房にて河村所長の説明を聞く並木市長。2 テーブルや椅子が設置される前の二階食堂にて、左から並木市長、河村所長、堀内統括施設長。3,4 テーブルなどの什器が設置された地域交流室を内覧。5 多摩川河川敷を臨む軽作業室にて、上段左から羽村市福祉健康部障害福祉課 野村課長、河村所長、堀内統括施設長、下段左から羽村市福祉健康部 粕谷部長、野崎理事長、並木市長、桜沢教育長。6 食堂を内覧する並木市長と野崎理事長。

竣工式典を行いました。

地域の中核を担う方々並びに福祉関係機関の方々をお招きし、竣工式典が開催されました。当日は雨天となり、あいにくの天候でしたが、多くの方々に支えられていることを実感いたしました。改めまして、心より御礼申し上げます。



- 1 竣工式典開式の言葉を述べる加藤副理事長。2 新設スマイル工房開所にあたり、挨拶をする野崎理事長。
3 並木市長に代わり来賓の祝辞を述べる井上副市長。
4 来賓の祝辞を述べる馳平市議会議長。5 来賓の祝辞を述べる井上衆議院議員。6 閉式の言葉を述べる田口理事。7 竣工式典後、スマイル工房職員が各部屋の設備など説明しながら施設内の内覧会を行った。
8 テレビはむらの取材を受ける河村所長。

開所式を行いました。

羽村市福祉健康部障害福祉課の方をお招きし、利用者、役職員とささやかな会食を交えながら、開所式が行われました。新スマイル工房として、新たな一歩が踏み出されました。



写真左 開所の挨拶を述べる野崎理事長。**写真中** 祝辞を述べる羽村市福祉健康部障害福祉課 野村課長。**写真右** 新施設開所に際し、喜びもひとしおの河村所長。

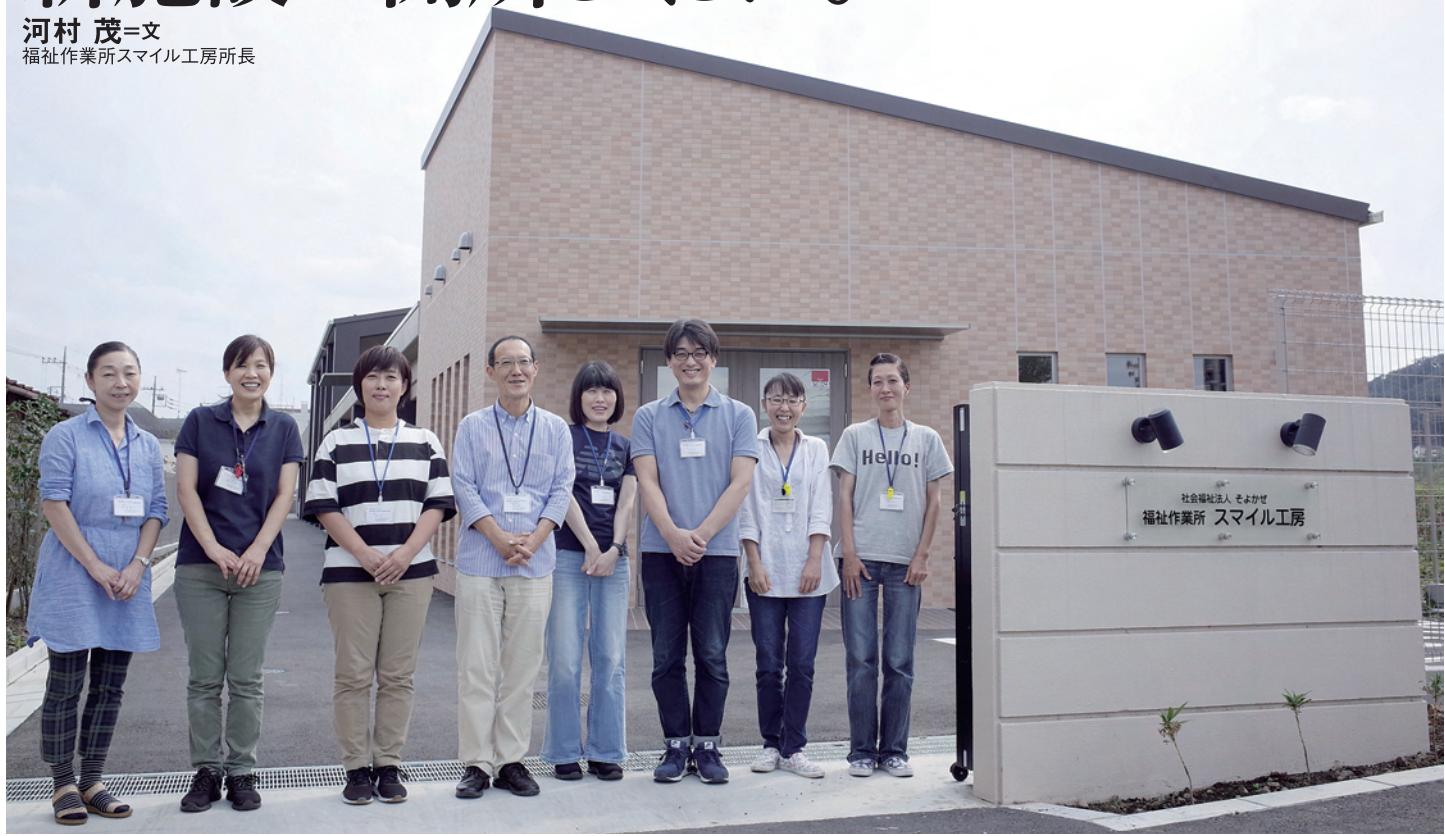
福祉作業所スマイル工房

新施設が開所しました。

河村 茂=文

福祉作業所スマイル工房所長

新施設前にて、スマイル工房職員一同。



福祉作業所スマイル工房の新施設は平成30年5月に無事完成し、10月から羽村市玉川に移転し事業を開始することができました。この日を迎えることができたのは、関係行政機関のご支援ご指導、工事関係者のご尽力はもとより、地域住民の方々が移転および建設工事に対し多大なるご理解とご協力をいただいた賜物と存じます。皆さまには深く感謝申し上げます。

当事業所は平成11年から19年間にわたり羽村市羽中にて活動を続けてまいりましたが、これからは羽村市玉川地域の一員としてあらたなスタートを切りました。どうぞよろしくお願いいたします(新住所=羽村市玉川2-10-1)。

さて、当事業所は主に心の病を抱えている方々の就労支援施設として事業を行っていますが、新しい施設においても基本的な事業内容は変わりません。室内軽作業と自主製品であるパン・クッキーの製造販売を通じて、利用者の心身の安定と各人の可能性を広げ本来持っている力の維持向上を図ります。加えまして、新しい施設には従来の作業室のほかに「地域交流スペース」という部屋を設けています。「地域交流スペース」はその名の通り地域住民の皆様方と交流を図る場として位置付けています。具体的に

は喫茶店風の内装で、施設の厨房で製造した天然酵母パンやクッキーの販売、コーヒーなども楽しめる店舗スタイルを考えています。まだ構想段階でございますが乾物の生産・販売も考えています。このような青写真を描いていますが、私どもには店舗運営等のノウハウや技術が無いので、研究・研修を重ねながら準備を進めていく所存です。

従いまして「地域交流スペース」のオープンには今しばらくお時間をいただくことになりますのでご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

→ のようなスペースを設けたことにはひとつの理由があります。それは、心の病により生活のしづらさを抱えている方々に対する世間の誤解や思い込みが根強いと感じてきたからです。「地域交流スペース」が単に利用者が作ったパンやクッキーを販売して地域の皆様方がお求めになったり、ひと時を過ごす場としてだけに留まらず、スマイル工房という施設や利用される方々に対するご理解を深めていただけるような場でありたい。さらには「病気・障害」ではなく同じ人間として「地域交流スペース」で出会い「心の交流」が生まれる場でありたいと願っています。皆様には何とぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人そよかぜ

平成30年度上半期事業概況報告

本年度も上半期が過ぎました。この間、そよかぜにとって年来の大きな課題であった、福祉作業所スマイル工房の新築工事が、去る5月31日に完了し同日新施設の引渡しとなりました。その後、10月1日の新スマイル工房の開所に向けた準備が慌ただしく行われました。開所時に必要な備品・設備等の搬入設置、利用者定員の増加に伴う職員採用と初任者研修、旧施設から新施設へと移る現利用者や新規利用希望者への対応、竣工式典及び開所式、旧施設建物を羽村市に返還するための復旧工事や不要になった備品等の廃棄などなど。こうした山積する課題を限られた時間の中、スマイル工房職員を中心に、皆が一致協力して一つずつクリアしていくことで、何とか無事に開所の日を迎えることができました。

また、9月26日には多くのご来賓のご臨席を賜り、新施設の竣工式典が盛大に執り行われました。本事業は、その計画段階から今日に至るまで、大変多くの方々のお力添えをいただきました。本当に有難うございました。

その他の法人事業につきましては、本年度上半期を通じて概ね順調に推移することができました。以下、各事業の上半期実施概況を報告します。

法人本部

スマイル工房新築移転関連事務をはじめ、法人運営に係る事務全般を行いました。スマイル工房の事業拡大やその他事業所の職員体制整備に伴う職員採用事務なども行いました。

福祉作業所ひばり園

就労移行支援事業では、利用者2名が一般企業に就職、新たに4名の方が利用を開始しました。9月末日現在で6名の利用者が活動しています。一般就労支援の一環として企業からの受注作業も順調に推移しました。

就労継続支援B型事業は、9月末日現在で68名の利用者が活動しています。主力の工業部品の組立や個装などの作業受注量が比較的多く安定していたため、半期を通して活発な授産活動ができました。出張所であるリサ

イクルショップくれよんの売り上げも好調でした。

本年度より始まった就労定着支援事業制度に基づき、ひばり園の就労移行支援サービスを利用して企業等に就職した方を対象に、職場定着支援を行うための新規事業所（指定就労定着支援事業）を10月1日に開設しました。本事業所は就職者の職場定着を支えるため、事業主、医療機関などの関係諸機関と連携し適切かつ効果的な支援を行います。

福祉作業所スマイル工房

9月末現在で19名の利用者が活動しています。例年出店参加している「はむら夏まつり」は、新スマイル工房移転関連事務に注力するため今年は不参加となりました。授産活動のパン・クッキーの製造販売や室内軽作業は概ね順調でした。4月20日には横浜方面への日帰り旅行を行いました。

指定特定相談支援事業所ゆい

利用登録者数が75名となりました。そよかぜの福祉サービス利用者及び利用希望者への相談やサービス等利用計画の作成、羽村市自立支援協議会相談支援部会への参加、利用者への通院同行や関係機関等との連携・調整など行いました。

羽村市障害者就労支援センター エール

就職者94名を含む129名の利用登録者となり、それぞれの就労ニーズに合わせた支援を行いました。9月には毎年恒例の「エール就職・勤続を祝う会」を羽村市コミュニティセンターにて行いました。

資源回収事業

ボランティアの皆様や地域の方々のご協力をいただき、平日及び第三日曜日に行われる回収とともに、事故などなく順調に進めることができました。

また、回収量及び収益は前年同期と比較して、ほぼ同水準で推移しました。

防災と情報の大切さ。

2011年3月11日に起きた東日本大地震では、羽村市から400kmも離れた地点で発生した地震でしたが東日本を中心とした各地に甚大なる被害をもたらしました。先日の9月6日に起きた北海道胆振東部地震も記憶に新しいところではないでしょうか。地震はご存じの通り、地球の地下にあるプレート(地殻)がずれ動く現象です。日本は4つのプレートが境界する位置にあり、地震国といわれる由縁

でもあります。地域で暮らす障害者や高齢の方など援助を必要とする方に日頃から情報等を提供し、支援することが重要であり、広報活動も大切な資源であると思います。

近年、スマートフォン等の普及により緊急地震速報も身近になりました。この速報は地震の発生直後に、各地での強い揺れの到着時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる仕組みです。強

コラム「福祉の時をつかむ」

い揺れの前に、自ら身を守るために活用することが目的となっています。首都直下型地震や南海トラフ地震も潜めている状況の中、各自で対策をとることが重要でもあります。国立研究開発法人 防災科学技術研究所より全国地震動予測地図2018年版が公表されました。インターネット等で防災対策として活用していただければと思います。

<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

皆さん楽しみにしている年に一度の日帰り旅行、今年は宇都宮方面に行ってきました。バンダイミュージアムに到着し、ガンダムの胸像を前に集合写真を撮ると、気分がさらに高揚していました。昼食は宇都宮と言えば!! という美味しい餃子をお腹いっぱい食べました。バンダイミュージアムや道の駅ろまんちく村では、班ごとで事前に回るルートを決めておくなどし、行事を通してみんなで一つの事を楽しむという経験ができました。日頃お仕事を頑張っているからこそ、素敵な余暇が楽しめるのだと思います。

リサイクルショップくれよん

前号の特集で普段見えないくれよんの裏側を掲載したこと、声を掛けて頂く機会が増えました。新しいメンバーも加わり、更に活気づいてきたくれよんです。10月も半ばを過ぎ、店内もすっかり秋色になりました。

10/24(水)～11/1(木)の期間で、衣類半額セールを予定しております。是非お立ち寄りください。併せてご提供品もお待ちしております。



福祉作業所スマイル工房

10月の新施設開所に合わせ、利用者さんが自宅から新施設へ通所するルート

経路模擬訓練を行いました。自転車組が2グループと徒歩組が1グループで比較的に交通量が少ないコースを設定し、通所経路の確認をしました。自転車組は帰りの上り坂を自転車から降りて歩くなど、体力は使いますが新施設へは交通量が少なく、より安全な通所経路を呼びかけました。慣れるまでは不安な利用者さんもいますが、急がず慌てず安全に来所していただきたいと思います。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。
※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

日本でも世界でも、精神障害者の歴史は差別や偏見とともにありました。時代の変化とともに様々な法律ができる中で解消されてきた経緯もありますが、根強く残るのも事実です。そんな中で様々な後押しや支援をいただき、玉川地域に新しいスマイル工房を開所することができました。「福祉」が社会や地域の中で、どんな役割を担っているのか、これからのスマイル工房の活動や、この紙面でお伝えしていかなければと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局

☎ 042-578-0855

福祉作業所ひばり園

☎ 042-555-5512

福祉作業所スマイル工房

☎ 042-578-2723

リサイクルショップくれよん

☎ 042-578-2575

羽村市障害者就労支援センター エール

☎ 042-570-1233

指定特定相談支援事業所ゆい

☎ 042-555-5512